

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 東山本川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	広島県広島市安佐南区山本町	北緯	34° 27' 04.8670"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年12月24日～ 令和3年12月27日	東経	132° 26' 32.4560"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
ア		コ		ア	
ボーリング		ボーリング		ボーリング	
責任者		責任者		責任者	
孔口標高	TP 183.12m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	度	0°	向	
地盤勾配	48° 鉛直	使用機種	試験錐機 東邦地下工機 D-0B型	エンジン	ヤンマーTM90M
ポンプ		ポンプ		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深	試料採取	室内試験	削孔月日		
											深度 (m)	N	100mm毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量							
1	181.77	1.35	粘土混じり砂	粘土混じり砂	暗褐	rd2			上部に草根が混入する。砂分は細砂を主体とし、腐植物を少量含む。	12/24 1.05	1.15	2	2	1	5	250	450					12/24
2			礫混じり砂	礫混じり砂	灰褐	rd3			中砂～粗砂が主体。φ2mm～5mmの礫を10～20%混入する。 GL-2.8m付近に厚さ3cm程度の腐植物を挟む。 GL-3.5m～3.6mは細粒分がやや優勢である。		1.60	2	3	1	6	300						
3			強風化花崗岩	強風化花崗岩	褐				岩組織を明確に残すものの岩芯まで風化進行し、コアは指圧で容易に潰れ細砂状となる。 DL級岩盤に区分出来る。		2.45											
4	178.82	4.30	風化花崗岩	風化花崗岩	褐				コア形状を残して採取出来るが、岩芯まで風化進行し、コアは指圧で容易に砕け粗砂状となる。 DH級岩盤に区分出来る。		3.15	1	1	2	4	300						
5	178.12	5.00	風化花崗岩	風化花崗岩	褐				コア形状を残して採取出来るが全体に弱風化し、コアはハンマー打で容易に砕け粗砂状となる。 DL級岩盤に区分出来る。		3.45											
6			風化花崗岩	風化花崗岩	褐						4.15	6	8	11	25	300						
7	176.22	6.90	風化花崗岩	風化花崗岩	褐						4.45											
8	175.12	8.00	風化花崗岩	風化花崗岩	褐						5.05	50			50	90						
9											5.14	90			90							
10											5.74	90			90							
11											6.00	50			50	70						
12											6.07	70			70							
13											7.00	貫入不能			50	0						
											8.00	50			50	30						
											8.03	30			30							